



林野庁北海道森林管理局

発行日 2008/10/01

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

# インフォメーション

当センターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援や森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導などを行っています。

## 森林環境教育の取組

京大生、パイロットフォレストの森林施業を学ぶ

九月九日、京都大学農学部森林科学科三回生等二十一名が、北方地域の独特な森林・林業・環境を学ぶ実習の一環として、国有林「パイロットフォレスト」を訪れました。



(パイロットフォレストの歴史などについて説明)

また、パイロットフォレストの今後のさまざまな役割や取組などの紹介と、ロシアの丸太輸出関税引き上げに伴う北海道におけるカラマツの情勢などについて説明しました。そして、高さ二十四メートルの望楼から広大に広がったカラマツの人工林を展望し、一万畝の広さを実感してもらい、最後に、当時森林造成で活躍した昔の機械を見学し、機械の動きや使われ方を学んでもらいました。学生からは、「カラマツと北洋材との価格差はどうなのか?」「パイロットフォレストでの収支は?」、「複層林

施業のメリットは?」などの質問がありました。また、「カラマツ林のみでは多様性の面ではマイナスではないか」、「複層林に移行する期間をもう少し短くしてよいのでは?」などの意見が出ていました。



(「この機械はどういう仕事に使われたのですか?」)

## 近隣町村のイベントに参加

九月七日(日)、釧路町産業祭では、自然再生事業のパネル展示及び樹木名当てクイズを行いました。樹木名当てクイズは五種類の樹木の枝葉、幹、ヒントを参考に樹種名を当てるもので、子供でも参加できるように

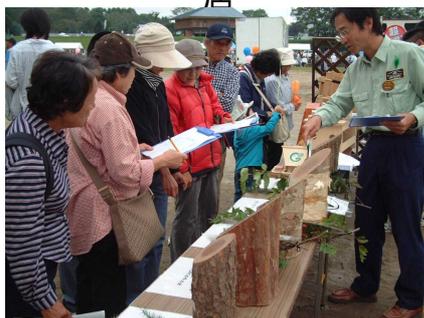


(釧路町産業祭での樹木名当てクイズ)

九月十三日(土)、白糠町カミングパラダイスで巣箱作りを行いました。三十組程の参加があり、親子での参加が多く、互いに協力しながら一生懸命組み立てていました。

九月二十三日(火)、鶴居村ふるさとまつりでは、出展内容は釧路町産業祭と同様でしたが、樹木名当てクイズでは樹木名を少し入れ替え挑戦してもらいました。準備した参加賞も十一時頃にはなくなり、予想以上の反響がありました。

このような町村のイベントには今後も積極的に参加し、木の良さをPRしたり、樹木や森林に少しでも関心を持ってもらえるよう内容を工夫しながら続けていきたいと思えます。



(鶴居村ふるさとまつりでの樹木名当てクイズ)



(白糠町カミングパラダイスでの巣箱作り)

**「森林ふれあい講座」を  
開催！！**

11月8日(土)  
8:15 釧路発  
(標茶町駅、中茶安別  
小中学校経由)  
16:00 釧路着

上記時間でバスを運行し  
ます。小・中学校の先  
生方を対象としています。  
(先生方の親子での参加  
も歓迎です。)  
申し込みは、10月27日  
まで、また、詳細はふれあ  
いセンターにお問い合わせ  
下さい。

**自然再生事業の取組**

**酪農学園大学の学生  
が釧路湿原の自然再  
生事業地を視察**

九月十七日(水)、酪農学園大学環  
境システム学部地域環境学科の遠井  
教官と学生五名が釧路湿原自然再生  
協議会で取り組んでいる六箇所のう  
ち五箇所の自然再生事業の現場を見  
て回りました。環境省が行う達古武  
地域自然再生事業、道が行う久著呂  
川土砂流入対策事業、国土交通省北  
海道開発局が行う茅沼地区旧川復元  
事業及び南標茶地区土砂流入対策事  
業、林野庁が行う雷別地区自然再生  
事業の五箇所です。  
当日は九月中旬とは思えない汗ばむ  
陽気の中、駆け足で各現場を回しま  
した。雷別事業地では、トドマツ立  
ち枯れ被害の被害地、激害地、森林  
再生の試験地、シカ食害対策等を約  
四十分程かけて見て回りました。学

生からは「  
トドマツ立  
ち枯れの原  
因は?」、  
「森林が再  
生するには  
どのくらい  
の年月や人  
手が必要で  
すか?また、  
その人たち  
はどのように集めるのですか?」な  
どの質問がありました。釧路湿原自然再生協議会では、川、  
農地、森林など様々な角度から湿原  
の再生に取り組んでいます。学生た  
ちにとつても様々な視点から湿原の  
保全を考える良い機会になったと思  
います。



(雷別の事業地を視察する学生)

**雷別ドングリ倶楽部  
の活動**

九月十三日(土)、前日の豪雨が嘘  
のように晴れた秋空の下、雷別自然  
再生事業地で雷別ドングリ倶楽部会  
員十名が参加して地ごしらえ作業と  
広葉樹種子豊凶調査を行いました。  
最初に、試行実験区に設置されたシ  
ードトラップを交換し、シラカンバ  
の種子落下量を調査しました。その  
後、地ごしらえ作業を行う班と広葉  
樹種子豊凶調査を行う班に分かれて

活動しました。地ごしらえでは、雷  
別自然再生学習会で植栽するための  
十センチ四方の笹地を、普段使い慣れな  
い長い鎌を使って刈り払いました。  
広葉樹種子豊凶調査では、植栽に用  
いるミスナラなどの種子の実り具合  
を、事業地周辺で双眼鏡等を使って  
実施しました。シラカンバ・ミスナ  
ラ・カシワは豊作、キハダは並作、  
イタヤカエデ・ヤチダモは不作とい  
った状況でした。午後は、班の作業  
内容を交代して実施し、なんとか二  
班で予定した地ごしら  
えを終了し  
ました。暑  
さの中きつ  
い作業でし  
たが、皆さ  
んの顔には  
作業を成し  
遂げた達成  
感が溢れて  
いました。



(大汗をかきながらの地ごしらえ作業)

**「雷別自然再生学習会」  
参加者募集中!**

標茶町雷別地区国林で  
下記のとおり学習会を開  
催します。

日時: 10月11日(土)  
8時~16時

内容: 植樹、広葉樹の種  
子採取・播種など  
詳細はふれあいセンター  
にお問い合わせ下さい。



釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL [http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro\\_hp/](http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/)

E-mail [h\\_kushiro\\_f@rinya.maff.go.jp](mailto:h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp)